



WEEFINE

リングライト1000

30444

Fisheye

安全にお使いいただくために

- この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 誤った使い方をされますと、故障や水没の原因となり、修理不能になる場合があります。
- ご使用の際にはこの説明書に従い必ず点検、テストを行ってください。
- 分解、改造、修理に伴う事故などに関し、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての補償は致しかねます。

安全上の注意

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください

- | | | |
|---|-----------|---|
|  | 危険 | 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容 |
|  | 警告 | 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 |
|  | 注意 | 取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容 |

危険

- バッテリー接点部同士を、金属板や針金などで接続しないでください。感電や発火の原因になります。
- 本製品を改造・分解しないでください。発熱や発火の原因になります。
- ナイトダイビングや洞窟など暗い水中でのメインライトとして使用しないでください

警告

- 本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の取扱いの注意事項などについて理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。
- ライト本体にバッテリーを入れたまま保管しないでください。ガスや液の発生によって、人体に影響を及ぼす危険があります。
- 本製品をご自分の目や他人の目のに向けて照射しないでください。失明や視力障害など重大な障害を引き起こすおそれがあります。
- 本製品の発光部を床やテーブルに伏せた状態で点灯させないでください。また、燃えやすいものの近くで点灯させないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 必ず専用のバッテリーと充電器をご使用ください。他の製品を使用すると本製品を破損させたり、ガスが発生して危険な状態になる場合があります。
- 濡れた手でバッテリーや充電器を触ると感電する危険性があります。バッテリーは十分に乾いた手で取り扱ってください。

注意

- 本製品は60mの水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、それより浅い深度においても衝撃や圧迫を加えますと、破損・浸水のおそれがあります。
- 浸水や故障などの事故を防ぐためにこの説明書を良くお読みになり、ご使用前後に必ず点検とメンテナンスを実施してください。
- 気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、破損したり防水機能を損なったりするおそれがあります。
- 本製品より異音や異臭がする場合や煙が出たりする場合は、バッテリーを取り外し、お求めになった販売店にて修理をご依頼ください。
- 万一、浸水が発生した場合、速やかに電源を切り、バッテリーを取り外してください。濡れているバッテリーに直接触れると感電の危険性がありますので取扱には十分ご注意ください。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形などの原因になりますので絶対に使用しないでください。
- 万一、浸水が発生した場合、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、本製品内部の圧力が高くなっていることがあります。バッテリーケースを開ける際、水が噴き出したり、バッテリーが跳ねたりすることがありますので、十分ご注意ください。

仕様

最大光量	1000ルーメン
耐圧水深	100m
照射角	90度
色温度	5000～5500K
調光機能	4段階(100%, 75%, 50%, 25%)
電源/調光ボタン	バッテリー残量表示機能付き
最大光量時連続点灯時間	65分
陸上点灯可否	可
付属バッテリー容量	3400mAh
充電時間	3時間
材質	耐腐食アルミ合金(表面アルマイト処理)
サイズ	W117 x H153 x L36mm
マウントサイズ	M67
重量	401g(陸上) / 205g(水中)
付属品	Li-ionバッテリー18650、CH-7チャージャー、 USB ACアダプター、USBケーブル、スペアOリング、 Oリングリムーバー、Oリンググリス

各部名称



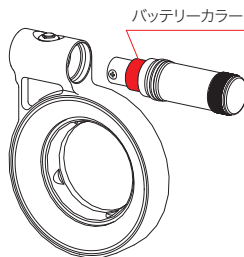
使用方法

バッテリー装着手順

1. バッテリーケースを反時計回りに回転させライト本体から取り外します。出荷時にケース内に収められた単4電池ホルダーも取り外します。

Li-ionバッテリー使用の場合

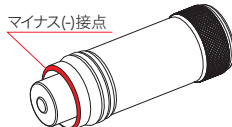
2. Li-ionバッテリーカラーに充電済みの18650 Li-ionバッテリーを入れ、マイナス側からバッテリーケースへ装填します。
3. バッテリーケースのOリング、ライト本体のOリング接触面にゴミや砂などが付着していないか確認します。
4. バッテリーケースのOリングが正しい位置に納まっているか確認します。(P9参照)
5. バッテリーケースを時計回りに止まるまで回して取り付けます。



Li-ionバッテリーを使用する場合、バッテリーカラーを装着しないと、バッテリーが正しく装填されず、接触不良などにより、正しく動作しない場合があります。



バッテリーケースの縁は、本製品の電源のマイナス(-)接点となります。接点に汚れや異物が付着していたり、ケースの締め込みが不十分だったりすると、正常に点灯しない場合があります。



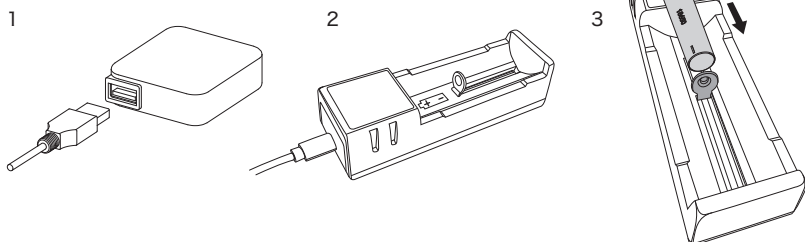
単4電池の使用について

付属の電池ホルダーに単4電池3本を装填しても点灯は可能ですが、下記の仕様となり、本格的な水中撮影用途としては不向きです。18650Li-ionバッテリー充電時などの補助的な利用に限定されることをおすすめします。

- ・最大光量500ルーメン(アルカリ乾電池)
- ・光量は電源ONと同時に急速に減光し、数分で200ルーメン以下、約50分の連続点灯後には100ルーメンまで減衰します。

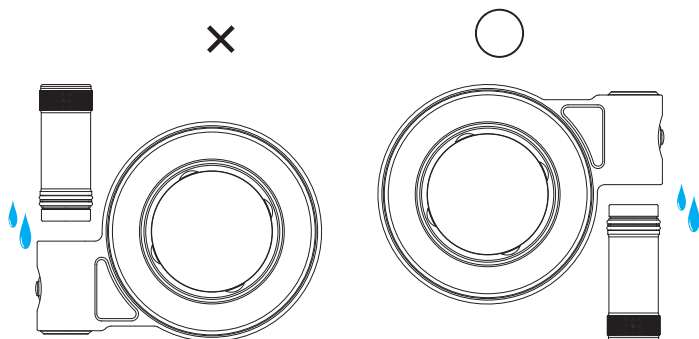
充電方法

1. USBケーブルACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込みます。
2. USBケーブルのUSB-A端子をUSBケーブルACアダプターのポートに差し込みます。(図1)
3. USBケーブルのmicro USB端子をバッテリーチャージャーのポートに差し込むと、バッテリーチャージャーの「FULL」の緑ランプが点灯します。(図2)
4. バッテリーをバッテリーチャージャーのスライダーを押しながら装填します。バッテリーが正しく装填されていれば、「FULL」の緑ランプから「CHG」の赤ランプに切り替わり充電が開始されます。(図3)
5. 充電が完了すると、「CHG」の赤ランプから「FULL」の緑ランプに切り替わります。(充電時間は最大約3時間)
6. 充電完了後、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外し、USBケーブルもバッテリーチャージャーおよびUSBケーブルACアダプターから取り外します。
7. 電源コンセントよりUSBケーブルACアダプターを取り外します。



⚠ バッテリーケース開放時の注意

使用後、バッテリー取り外しの際は、ライト本体に付着した水分を拭き取り、十分に乾いた状態で行ってください。不用意にバッテリーケースを開放すると、内部へ水滴を落下させてしまうおそれがあります。ケース内部は防水機構ではないため、ご注意ください。



- ⚠ 危険
 - USBケーブルを束ねた状態で充電すると発熱で発火の原因になるおそれがあります。
 - 濡れた手、濡れた環境での充電は感電するおそれがあります。
- ⚠ 警告
 - 充電を開始する前に必ずジャック/端子の汚れや水滴の付着を確認してください。もし汚れや水滴が付着していた場合は十分に清掃してください。製品の故障だけではなく、感電するおそれがあります。
 - Li-ionバッテリーやバッテリーチャージャーは充電中に熱を持つことがありますので、絶対に紙や絨毯など燃えやすい物の上で充電しないでください。
 - 水没した、あるいは水没しているおそれのあるバッテリーを絶対に充電しないでください。
- ⚠ 注意
 - バッテリーをバッテリーチャージャーに装填したまま保管しないでください。自然放電などの事故につながります。
 - USBケーブルACアダプターは、マルチボルト(100~240V)対応になっていますが、自家発電のリゾートやクルーズ船などでご使用の場合は電圧が非常に不安定なため、異常な高電圧により本充電器を破損させてしまうおそれがあります。安全回路内蔵の変圧器を併用されることをおすすめします。
 - 30°C以上の高温になる所や、直射日光の当たる所では放置しないでください。
 - 振動や衝撃、落下などでバッテリーチャージャーからUSBケーブルが外れたりしないよう安定した場所で充電してください。

操作方法

点灯・調光・消灯

1. 電源/調光ボタンを約2秒間長押しすると点灯します。
2. 電源/調光ボタンを押すごとに、[100%]⇒[75%]⇒[50%]⇒[25%]の順で光量が切り替わります。
3. 点灯時に電源/調光ボタンを約2秒間長押しすると消灯します。

内蔵LED表示

本製品は内蔵LEDの表示により残電量をモニタリングすることができます。

- 青点灯 満充電からバッテリー残量2/3まで
- 緑点灯 バッテリー残量2/3から1/2まで
- 赤点灯 バッテリー残量1/2以下
- 赤点滅 セーフティモード(10%以下の光量で約10分間の点灯)

※単4電池使用の場合は新品電池使用開始時に緑点灯、以降、残電量表示は電池の種類や状態により変化します。

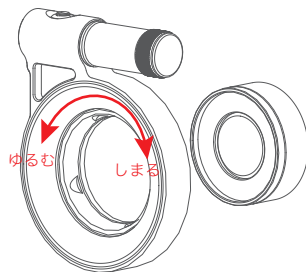
NOTE

本製品には電源OFF時の光量設定を記憶する機能はありません。電源ON時は光量100%からのスタートとなります。

カメラノポート/レンズへの取り付け

ライト本体の背面にはM67サイズのネジが切っており、M67仕様のハウジングレンズ、レンズポート、コンバージョンレンズなどに取り付けることができます。

1. ライト本体背面にあるM67ネジを使用機材側のM67ネジに合わせ、ライト本体を時計回りに回転させて取り付けます。
2. 取り付け後、電源/操作部をお好みの位置に回転させてセットします。本体は360度回転可能です。



NOTE

本製品のM67ネジは過度な力で締め込みができない構造になっています。使用機材より取り外す際は、ライト本体を反時計回りに回転させて外しますが、万一、何らかの原因で取り外せない場合は、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

NOTE

オプションの『ボールアダプター』を取り付ければ、ボールジョイントを介してアームやアームベースからのライティング展開も可能です。

メンテナンス

○リングの確認

本製品は○リングを使用して防水しています。お客様ご自身でメンテナンスや交換が可能な○リングは1ヶ所(2本)です。



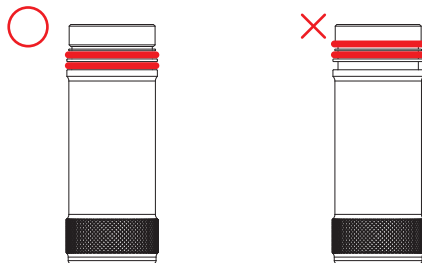
注意

○リングの取扱いについて、下記の点に注意してください。

- バッテリーケースの○リングを外す際は、絶対に金属製の鋭利なもの(はさみの先端、釘、ナイフなど)を使わず、付属の「○リングリムーバー」をご使用ください。
- 外した○リングを紛失しないようご注意ください。
- ○リングの摩擦や劣化を防ぐために、外した○リングの表面に付属の○リンググリスを薄く塗布(グリスアップ)します。その際、砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。もし、砂やゴミなどが付着していた場合は、水で洗い流してからグリスを塗ってください。また、○リンググリスが多すぎると、かえってゴミやホコリが付きやすくなり、浸水の原因となることがありますのでご注意ください。
- ○リング面に小さな傷やひび割れなどがある場合は、絶対に使用せず、すぐにスペアの○リングに交換してください。
- ○リング溝、または○リングが当たる防水面にも砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。綿棒などを利用すると、きれいに清掃できます。また、傷やひびなどがないかもしっかり確認してください。
- 上記の確認ができましたら、再び溝に○リングを装着してください。その際、○リングがねじれたり、はみだしたりしないようご注意ください。
- ○リングや○リング溝のチェック、グリスアップなどは、ボディ開閉時に毎回行ってください。

■ バッテリーケースの○リング

バッテリーケースをシールする2本の○リングは図のとおりに収めてください。正しい位置にセットされていないと点灯不可となる場合があります。



ダイビング前のチェック

本製品をご使用になる前に、浸水チェックを行うことをおすすめいたします。ご使用前に、バッテリー未装填の本製品を水を張った洗い桶や洗面器などに浸してください。3秒で一度、30秒で一度、3分間で一度、水から取り出してを開け、バッテリーケース内部に浸水がないことをご確認ください。

ご使用後のお手入れと保管方法

1. 使用後は必ずハウジング／ポート／コンバージョンレンズから取り外して、それぞれ個別にメンテナンスを実施してください。ねじ込んだまま放置すると固着するおそれがあります。
2. 使用後はバッテリーケースを開ける前に、ライト本体をおよそ10~20分程度、真水に浸けておいてください。また真水の中で、回転部、電源／調光ボタンを数回動かして、周囲についた塩分を洗い流してください。
3. 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対に行わないでください。
4. 水洗い後は、乾いた柔らかい布などで水気をよく拭き取ってください。炎天下での直射日光による乾燥や、ドライヤーやストーブによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
5. ご使用後はOリングにシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。Oリングは1年毎に交換されることをおすすめします。
6. 長時間ご使用にならない場合は、高温多湿な場所や直射日光の当たる場所、極端に気温が下がる場所をさけて保管してください。
7. アルコールやシンナー、ベンジンなどの有機系溶剤や中性洗剤は変形や破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。

NOTE

別売りの『FIX メンテナンスキット』に含まれる、塩害防止剤『ソルトアウェイ』をご使用いただくと塩分除去に一層効果的です。



海水でご使用後、そのまま放置すると細かいすき間などに塩分が残ри、乾燥するとその塩分が結晶となり水に溶けなくなってしまいます。結晶化した塩分は時にOリングを押し上げ、浸水の原因 になりますので、必ず真水に浸けて塩分を洗い流してください。

オーバーホールのおすすめ

本製品のご使用回数に関わらず、1年から2年に一度の定期的なオーバーホールをおすすめいたします。製品内部に、お客様には交換いただけない防水Oリングを使用しております。これらを定期的に交換・メンテナンスすることで、事故を防止し、製品寿命を延ばすことになりますので、一定期間が経過いたしましたら、弊社カスタマーサービスまで、オーバーホールをご依頼ください。